

防災無線の 早期着工を

市長／障害者施設や幼稚園・保育所を含め1日も早い着工を目指す



井上末喜 議員

島原鉄道跡地の無償譲渡について

井上議員 現在の状況を知りたい。

松本市長 昨年度、譲渡を受けるにあたって課題を整理し、島原鉄道に投げかけをしているが今だ回答が得られず協議が進展していない。

井上議員 島鉄もいろいろ予定もあると思うが、もう少し根詰めて話を進めてもらいたい。

企画振興部長 とにかく島鉄の方に協議の場を持って頂くようお願いしていく。

加津佐の道の駅について

井上議員 現在はどうかっているのか。

松本市長 市内西部地域の振興の為に、この計画については推進を図るといふ方向性には変わりはない。

井上議員 道の駅を期待されている方がかなりいると思う。農家の方にとって自分の作った作物を自分が決めた値段で売れるのは、本当に喜ばしい事ではないかと思うが。

松本市長 地域振興につながる地域の皆さんが利用、活用をして潤って行けるような施設の整備を思っている。

防災無線について

井上議員 年内に導入すべきだと考えるが機種は決まったのか。

松本市長 1日も早く運用開始ができるよう努める。

井上議員 障害者施設、幼稚園、保育園などの施設にも設置する考えはあるのか。

松本市長 そういう施設

には必ず設置をしなければという考えだ。

口之津消防分署の建設について

井上議員 場所、時期、予算等々建設の流れを詳しく知りたい。

松本市長 昭和47年に建設され、44年が経過し老朽化が著しいというのもあり、建替えを検討している。

井上議員 加津佐に移転するというのがあり、口之津にあった消防署だから口之津に置いてもらいたくてこの質問をした。

深江庁舎について

井上議員 庁舎をトータルレテマーケティングに貸し出した場合、緊急避難時の駐車場は足りなくなるのではないか。

松本市長 現在130台分の駐車場を貸し付けている。新たに必要となる駐車場は敷地外に確保していただくよう協議していきたい。

熊本地震を教訓 に本市の防災の 見直しを

市長／従来の対応に捉われないよう意識しなければいけないと思っている。



隈部和久 議員

隈部議員 本市は仮設住宅の建設候補地を選定し、防災計画に明記しているのか。

松本市長 建設場所については「被災地から近い、市の空き地などを原則とする。」と記載しているが、具体的な予定地は明記していない。

隈部議員 今回の熊本地震を受け防災計画の見直しは行ったのか。

総務部長 5月30日に会議を開き、避難勧告等を出すときのフロー図の整理、エコノミークラス症

候群や生活不活発病の予防についてマニュアルに追加したが、地震発災後、あまり期間がなかったの

で、今回は総論的な追記に留まっている。今後、様々な情報を検証し追加修正していく。

隈部議員 本市の建設業界との協定は。

建設部長 結んでいる。大まかな内容は、発災後、まず各々の近隣の情報提供と、その後の応急処置に関することである。

隈部議員 大震災発災後は、道路が崩壊や倒壊物で通行不能になる。人命救助のためには、まずこれらを移動、除去し、緊急車両が通行できるようにすることが重要である。

情報・通信が遮断、錯綜する中で、有事で最大の能力を発揮する重機を持った、土木建築業者に各々の判断で、直ちに行動してもらおうよう、改めて要請しておくべきである。

次に本市の指定避難所は何か。

総務部長 101カ所である。

隈部議員 今回各地区8カ所で、1週間ほど開設し、各所に職員を配置したが、これは従来の台風に対する対応と一緒である。今後は各避難所近くの職員や、自治会長に鍵を預け、各々の判断で開所できるようにすべきではないか。

松本市長 私も今回の震災を受けて、まさに、そのように従来の対応に捉われないという事を意識しなければいけないと思っている。

隈部議員 自然災害に対し、自らの命は自ら守るという意識が、何より重要である。行政や関係団体は、即死を逃れた命を、できるだけ迅速な対応で助けるために、平時から如何に真剣に本気で、対策を構築するかという職分である。

今回の震災を、本気でわが身のことと受けとめた対策作りを強く要望する。